

平成28年4月13日

福島大学大学院人間発達文化研究科（教職実践専攻）の 設置予定について

日頃から本学に多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本学では、平成28年3月31日付けで大学院の設置計画書を文部科学省に提出いたしましたので、お知らせいたします。

今後の大学設置・学校法人審議会による審査を受け、設置の可否については、本年8月末に判明する見込みです。

設置計画の概要、目的等については、別紙資料をご参照ください。

また、資料に記載されている内容については予定であり、今後変更があり得ますのでご留意願います。

【担当窓口】

専攻具体的内容について

人間発達文化研究科

研究科長 千葉 養 伍

教 授 中 村 恵 子

TEL : 024-548-8103

【広報担当】

事務手続きについて

総務課

課 長 山 下 直 也

TEL:024-548-5190

福島大学教職大学院の設置について

【設置計画の概要】

- ・人間発達文化研究科内の教職実践専攻として設置する（開設時期 平成 29 年 4 月）。
修業年限 2 年、 入学定員 16 名（収容定員 32 名）、学位 教職修士（専門職）
- ・教職実践専攻の設置に伴い、教職教育専攻を廃止し、地域文化創造専攻に人間発達支援領域を新設する。

【人材育成の目的】

本教職大学院は、マネジメント経験を積みながら省察する実践力、高度な授業力、アクティブな理論的探究力、教職への自覚と強い責任感をもち、福島県の教育を牽引する教員の「ミドル・リーダー」を養成する。

*以下の福島県教育委員会からの要望を受けて設計した

- ・福島県の教育課題について理解を深め、幅広い視野を備えた教員の養成
- ・授業力やマネジメント能力など高い実践力を備え、学び続ける教員の養成
- ・教職大学院を核として福島県の教員全体の指導力向上を図る体制づくり

【教育課程】

- ・3つのコース（ミドル・リーダー養成コース／教育実践高度化コース／特別支援教育高度化コース）を設置する（各コースに定員は設けない）。
- ・専任教員計 20 名（研究者教員 9 名、実務家教員 11 名）、教科専門等兼任教員 46 名、兼任教員 3 名で指導にあたる。
- ・共通領域に福島県の教育課題を扱う「福島の学校と教育課題」を設置する。
- ・コースに応じた「学校マネジメント論及び事例研究」、教科横断型の「主体的な学びで育成するための理論と実践」、「障害児に対する実践的指導方法の事例研究」等の特色ある科目を配置する。

【学校における実習／プロジェクト研究】

- ・共通領域及び選択領域の演習科目の学びと「学校における実習」を関連させ（理論と実践の往還）、さらに各自の研究課題に応じた 2 年次の教育実践「プロジェクト研究」につなげる。
- ・実務家教員と研究者教員とがチームを組んで「学校における実習」の指導をし、定期的に連携協力校を訪問する。連携協力校でのカンファレンスには当該校の教員も参加できる。
- ・学生は、週間カンファレンス、合同カンファレンスにて自らの実践を省察し、ラウンドテーブル（教育実践報告会）に参加して報告し、教育実践報告書を作成する。

以上の内容は予定であり、変更があり得ます。

設置の趣旨・背景

東日本大震災及び原子力災害後の福島県における教育課題への対応

これからの時代の教員に求められる
資質能力を強く意識

福島県固有の教育課題に理解を深め幅広い視野を持った教員の養成
→ 防災・放射線・環境・理数・英語教育,心のケアに関わる知識・技能,課題解決・探求型学習の充実
授業力・マネジメント能力などの高い実践力を備え,常に学び続ける教員の養成
→ 高度な実践力を背景に,多様な課題に対してチームとして学校をマネジメントする力を
教員全体の指導力向上を図るネットワークづくり
→ 県内の教員相互,大学,行政機関等のネットワーク形成に際して役割を果たす



教職実践専攻 (入学定員:16名,専任教員:20名) の特色

人材養成像

福島県教育委員会が求める教員像

現職教員

- ① 「ふくしまの新しい教育を自分がつくる」という高い志を持つ教員
- ② マネジメント力を持ち,ミドル・リーダーとして学校を支える教員

学部新卒学生

幅広い視野を持ち,即戦力として活躍できる教員

本専攻(教職大学院)で養成

高度に学び続ける教員に必要な資質・能力

マネジメント経験を
積みながら
省察する実践力

高度な授業力

4つの
資質・能力

アクティブな
理論的探究力

新たな教職への
自覚と強い責任感

課程の特色

● コース制の導入

教職経験や自らの教員像に合わせた3コースを選択
ミドル・リーダー養成コース (現職教員対象)
教育実践高度化コース (現職教員・学卒対象)
特別支援教育高度化コース (現職教員・学卒対象)

科目領域	コース	ミドル・リーダー養成コース	教育実践高度化コース	特別支援教育高度化コース
理論	必修 20 単位	共通 5 領域		
		現代的教育課題 + 福島県の教育課題		
理論	選択 8 単位	選択領域	学校改革領域	授業改善領域
			特別支援に関する理論と実践領域	
理論と実践の往還		ラウンドテーブル		
実践	必修 10 単位	学校における実習	学校課題対応実習	授業実践高度化実習 長期インターンシップ
実践	必修 8 単位	プロジェクト研究	学校課題対応	授業実践高度化 特別支援教育実践

選択科目等で希望に合わせた深化・展開が可能

● 授業力向上を目指しT・Tで指導

授業改善領域では専任教員と兼任教員(教科教育・教科専門教員:46名)がチーム・ティーチングで指導

福島固有の課題への深い理解と実践力を育成

● ラウンドテーブルの実施(年2回)



立場の異なる者同士で協議し,客観的に自身の実践や研究成果を省察する機会を創出

福島県内外の教育関係者とのネットワークを形成

● チームで学校における実習を指導

連携協力校(大学周辺の学校,所属校)で400時間週間カンファレンスと合同カンファレンス(月1回)を実施
研究者・実務家教員がチームを組んで指導

実践における事象の理論的理解を深める



● 自己課題を探究し実践報告書を作成

実践における課題を明確化し実践報告書として報告
PDCAサイクルで,実践の計画・分析・評価を実施

理論と実践の往還及び深化・展開・発展の保証